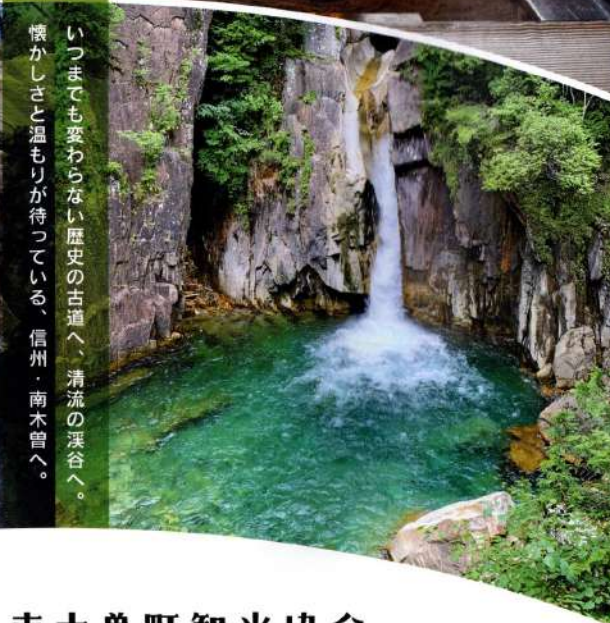
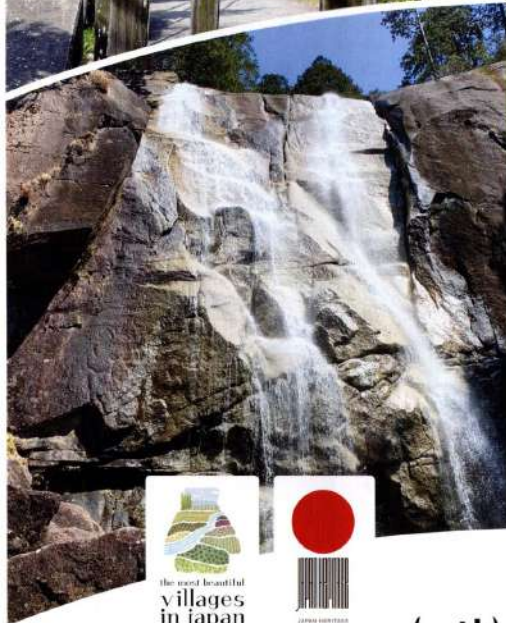
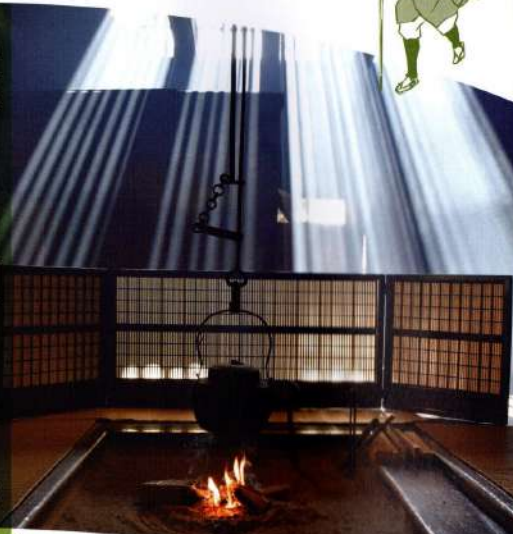


# ぶらりなぎそ



旅に出よう。



いつまでも変わらない歴史の古道へ、清流の深谷へ。  
懐かしさと温もりが待っている、信州・南木曾へ。



the most beautiful  
villages  
in japan

南木曾町は  
「日本で最も美しい村」  
連合に加盟しています。



日本遺産

(一社) 南木曾町観光協会

歴史街道

# 中山道

なかせんどう

中山道は江戸日本橋を起点に京へ向かう百三十五里三十四町の道。

## 中山道の旅人になる。

南木曾駅から妻籠宿を抜け馬籠宿へ。古き時代を、身近に感じるとともに、今も残る江戸のたたずまいは、旅人の心を癒す優しいさがあります。与川から妻籠の中山道は国の史跡にも指定されています。



別紙マップF-4

往時のままの家並みを残す大妻籠



別紙マップG-3

残された石畳の道には、行き交う行列や先急ぐ旅人達の声や、足音がしみています。江戸風情の漂うこの街道はなぜか懐かしく、それは江戸と現代とを結んでいるかのようです。



別紙マップE-4



別紙マップF-4



別紙マップE-4



別紙マップE-4



別紙マップF-3

1 かぶと観音(町史跡)

本曾義仲が北陸路に出発せんとする時、かぶとの八幡座の観音像を祀ったのがはじまりと伝えられています。

2 上久保の一里塚(町史跡)

江戸から数えて七十八里目の塚で、町内で原形をとどめているのはここだけです。枝垂梅も見事です。

3 良寛歌碑

江戸後期の歌人良寛がこの付近を通った時に詠まれた和歌「この暮の悲しきに相草の妻よたて小杜龍鳴くも」の歌碑があります。

4 妻籠城跡(県史跡)

戦国時代から妻籠は木曾の南のむききとして重要でした。妻籠城は主郭二の郭三の郭、帯曲輪をそなえた規模の大きな山城で、主郭からは妻籠宿三留野宿が望めます。

5 石柱道標(町史跡)

妻籠は中山道と飯田街道との分岐点として栄えたところで、この道標は明治十四年に国道開通を祝い、飯田近江地元の高人によって建てられたもので、高さ三メートルあまりの大石柱です。

6 藤原家住宅(県史公)

開取・構造仕上りから十七世紀半ばまでさかのぼる古い建築であることが判明し、昭和六十三年に復元修理されました。



歴史の道(野原-清合)



そして三留野宿と野尻宿を結びよがわみち

段々田んぼの間を、つづら折りの道が続く。その昔、水害で通行できない中山道本道の迂回路でもありました。

## 与川道

1 和合の枝垂梅

江戸時代、木曾曾根有数の酒造家遠山氏の庭木として愛育されてきた古木。

2 團原先生碑

三留野東山神社神官の家に生まれた團原田富は、江戸中期の神学者で、尾張美濃信濃に門人多数を擁していました。

3 等覚寺の円空仏

円空仏は町内に六体あり、等覚寺には草駄天像以下三体が、公開されています。

三留野宿

中山道が設置される以前から交通の要衝として、かつては妻籠宿と並び栄えた宿場でした。明治十四年(二八八二)の大火でほとんどが焼失し、わずかに残る出梁造りや卯建のある家が往時を偲ばせます。

4 三留野宿本陣跡

本陣の庭木だった枝垂れ梅の古木と、明治天皇御膳水が名残を留めています。

5 廿三夜塔

二十三日の遅い月の出をおがみ、農作などを祈る民族信仰の塔です。

6 大ガケ砂防堰堤

明治天皇が工事を視察されたという限内で最初の石積みの砂防堰堤。土砂に埋もれていたものが発見され、その一部を見ることが出来ます。

7 倉科祖霊社

天正十四年(二五八六)松本城主小笠原貞直の重臣倉科七郎左衛門朝綱が従者三十余人とともに、賊たちにその倉科の霊を鎮めるために祀ったもので、毎年四月三日にお祭りが行われています。

8 古典庵(町名勝)

仲秋の名月はここから眺めると、周囲の地形とあいまって大きく見事です。またここは、江戸時代初期に僧坊、古典庵のあったところでもあります。

9 白山神社の大杉

大杉は一本(前天然記念物)は八二m、他の一本は六、七mの巨木です。また、春と秋の例祭には神社に神楽獅子が奉納されます。

10 子安観音と枝垂梅

昔からこの付近に住む者は離れしないといわれており、信仰の対象として子安観音が祀られていました。現在も安産祈願に多くの方が訪れます。

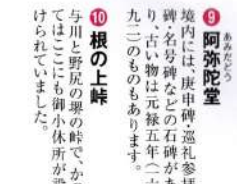
11 馬籠峠

標高七九〇m、妻籠宿から三留野方面まで展望でき正岡三郎の「白雲や青葉若葉の三千里」の句碑があらわれています。

12 阿弥陀堂



別紙マップC-5



別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

別紙マップC-5

歴史街道

# 妻籠宿



江戸から数えると  
中山道四十二番目の宿場で、  
木曾の宿場の中でも  
最も保存状態が良く、  
家並みが残されています。  
ぶらりと立ち寄った店の人に  
温かさを感じます。

## 時空間に まぎれ込む。

中山道を行けば必ず立ち寄りた宿場町。  
家々の細部にまで町並みを守る思いが  
熱く伝わってくる。  
まるでタイムスリップしたような錯覚が、  
心地良くも感じる。

### 妻籠宿

慶長六年（一六〇二）徳川家康によって「宿駅」が定められ、江戸から四十二番目の宿場として整備されました。明治以降宿場としての機能を失い衰退の途をたどりましたが、昭和四十二年からはじまった町並み保存事業により江戸時代の面影がよみがえりました。昭和五十一年には国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されています。

#### 1 鶴岩(町名)

「木曾藩所領地」には誰が参向に向かっても休む姿が描かれていました。明治二十四年の濃尾大地震により形がかわってしまいました。

#### 2 口留番所跡

ここには、戦国時代から十七世紀半ば頃まで関所が置かれ、中山道を行く人々を監視していました。

#### 3 熊谷家住宅(町有形文化財)

十九世紀初頭に建てられた長屋の一部、長屋の左右の半分づつが残り、軒の家として使用されていました。

### 南木曾町博物館

妻籠宿本陣・脇本陣奥谷・歴史資料館  
休館日/十二月二十九日  
一月一日(開館時間/九時~五時)入館料/三施設共通券七〇〇円

#### 11 光徳寺

町並みより一段高い台地に石垣を築き、白壁をめぐらした気品ある寺で、明治九年に開山されたといわれています。庫裏には、明治初期に運送相高が考案した車付駕籠(町有形文化財)が展示されています。

#### 12 延命地蔵(守りかき地蔵)

文化十年(一八三三)光徳寺住職根岸相高が地蔵尊像の尊かびがつくっているを崩しより運んできて安置したものです。

#### 13 郵便屋さん

ここでは郵便局ですが黒いポストに古風なつくり。郵便屋さんも笠にはつば姿で歩いていました。

#### 14 寺下の町並み

そこに人が住み生活しながら続けられてきたのが妻籠宿の保存運動。最初に保存事業が行われた寺下地区は妻籠宿保存の原点ともいべき町並みです。

#### 15 上嵯峨屋(町有形文化財)

昭和四十四年の解体復元で十八世紀中期の本質であることがわかりました。建築当初の形式をよくとじて庶民の旅籠宿としての雰囲気とうかがうことができます。

#### 16 下嵯峨屋(町有形文化財)

当初、長屋であったものを一戸を昭和四十三年に解体復元しました。妻籠宿における庶民の住居を代表する片土間に並列二間取の形式をよくとじています。



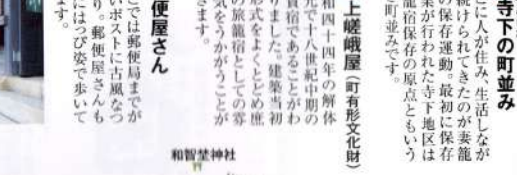
6 妻籠宿本陣  
島崎藤村の母の生家であり最後の当主は、藤村の実兄で、馬籠から伯父の所へ養子に來た広介でした。本陣は明治になつて取り壊され、その後、御料局妻籠出張所が建設されましたが、のちに町に転下されたのを機に平成七年、島崎家所蔵の江戸後期の絵図をもとに復元されました。



別紙マップF-4 妻籠宿本陣



別紙マップF-4 脇本陣奥谷



別紙マップF-4



別紙マップE-4



別紙マップF-4

#### 7 脇本陣奥谷(国の重要文化財)

代々脇本陣・庄屋間屋を務めた家で、現在の建物は明治十一年に、現在まで禁物にあつた絵巻をふんだんに使つて、城郭を模して建てられたものです。その優れた建築技術などが評価され平成十三年六月に重要文化財に指定されました。島崎藤村の初恋の人「ゆふさ」の嫁ぎ先でもあります。

#### 8 歴史資料館

脇本陣奥谷に隣接しており、南木曾や木曾路の歴史町並み保存運動の歩みなどを多くの模型や映像を用いてわかりやすく展示しています。

#### 9 キンモクセイ(重要天然記念物)

和智堂神社の神宮を蔽った矢崎家の庭木として、代々愛育されてきた巨木です。開花期は九月下旬頃。



別紙マップF-4



別紙マップF-4



別紙マップF-4



別紙マップF-4



別紙マップF-4



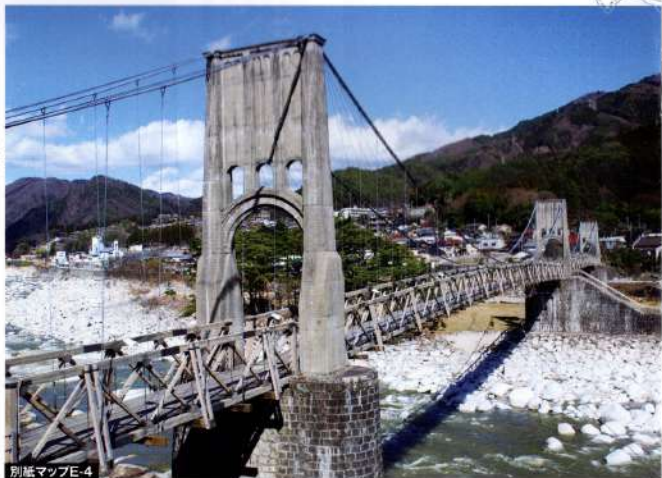
別紙マップF-4



別紙マップE-4

**ミツバツツジ群生地**  
 (町の天然記念物・町花)  
 六種類のミツバツツジが群生し、四月中旬が見頃。ナギソミツバツツジはその名のとおりに当町近辺にしか見られない珍種です。

**9 桃介橋** 国の重要文化財  
 電力王と敬称された福沢桃介が、水力発電開発のために架けた吊橋で全長二四七mの日本でも最大級の木橋です。別名「橋の橋」。近代化遺産として復元指定。



別紙マップE-4

**10 天白公園**  
 公園内には、ミツバツツジの群落、桃介橋、福沢桃介記念館、山の歴史館、悲しめる乙女の像があり、見所いっぱいあります。



山の歴史館

別紙マップE-4



**12 悲しめる乙女の像**  
 昭和二十八年七月の伊勢小屋沢の蛇抜け山津波犠牲者を悼んで作られたもの。悲しめる乙女の像が座す大岩には、蛇抜けを警告する山言葉が大きく刻まれています。



別紙マップE-4

**13 読書発電所**  
 (国の重要文化財)  
 桃介橋、柿其水路橋とともに国の近代化遺産として指定されており、大正期の水路式発電所施設を代表するものです。

# 歴史浪漫 天白公園

てんぱくこうえん

木曾川に架かる雄大な桃の橋。日本の近代化を支えた歴史と文化に学ぶ。



電力王・福沢桃介

## 明治・大正の面影。



**1 柿其峡**  
 「雨霞堂」ともいわれる「寝覚の床」のミニシアター版で木曾川の広い河原をバックに花崗岩の柱状節理が浸食されて、美しい姿を見せられます。別名「中河原峡」とも呼ばれています。

**2 八剣神社**  
 境内の大杉は木曾では珍しい熊野杉で樹齢五七〇年余。四本の杉が一本になっていて「よすぎ」とも呼ばれています。



別紙マップB-4

**5 柿其温泉**  
 (溪谷の宿いちまき)  
 柿其溪谷入口にある温泉で、入浴・食事・休憩・宿泊ができます。泉質は単純弱放射能冷鉱泉。

**8 イボとり観音**  
 (土筆・中山親吉)  
 この観音堂にある木の靴で、このイボがとれるといわれています。毎年八月十四日には観音堂境内へ出発して十二兼をまわって歩く「百万遍仏」の無形民俗文化財が行われています。

**4 きこりの家**  
 江戸末期の文久四年(一八六四)に建てられた民家を解体復元・自然しながら昔の生活が体験できます。

**7 霧ヶ滝**  
 牛ヶ滝からいったん戻り、林道を徒歩四分。展望台からの眺めは爽快です。

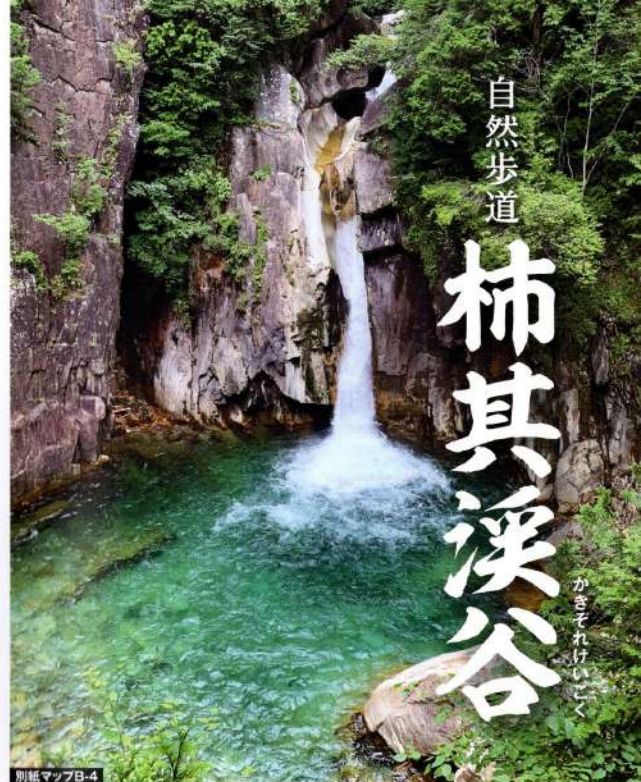
別紙マップC-4

**3 柿其水路橋**  
 (国の重要文化財)  
 桃介橋、読書発電所とともに国の近代化遺産として指定されており、現存する戦前の水路橋の中で最大級のものです。

**6 牛ヶ滝**  
 巨大な花崗岩が壮観な景勝地。牛ヶ滝展望台への遊歩道はお勧めのコースです。

**9 イボとり観音**  
 (しゅうにかね)  
 約八kmにわたって滝あり、約ありの変化に富んだ美しい渓谷。一般には十二兼から自然歩道を通って牛ヶ滝まで四五km、さらに奥へは林道を歩いて行きます。

別紙マップB-4



別紙マップB-4

# 自然歩道 柿其溪谷

溪谷美に魅せられて。

木曾川の溪谷の中でも特に美しいといわれ、その清冽な流れと壮大な自然の芸術は、どの季節でも旅人を魅了する。



別紙マップC-4

柿其水路橋

自然 遊戯

# 南木曾山麓

なきそさんろく



別紙マップE-5

## 大自然の遊び場。

キャンプや登山、森林浴などのアウトドアスポーツの基地。森はいつも笑顔で迎えてくれる。

南木曾岳より御嶽山を望む

**① 南木曾岳** 日本山岳遺産  
標高二六七六m、木曾三岳の一つ。古くは山岳修験場となっていました。山頂の見晴台からは南アルプス中央アルプス、志那山、御嶽山などが望めます。

**② 蘭美林** (自然探勝園)  
樹齢三百年以上の木曾五木(ひのき)さわら、あすなろ、ねずこ(こうやまき)群生林の中を自然の宝庫として楽しめます。



別紙マップF-5



別紙マップF-4

**③ 南木曾温泉郷** (大江戸温泉物語 (ホテル水郷))  
国道二五六号線沿いの閑静な地区にある温泉で、入浴と食事もできます。泉質はアルカリ性単純泉。

**④ 南木曾山麓キャンプ場** (水テラス水郷)  
南木曾岳南麓、標高八〇〇m、九〇〇mの森の中にキャンプやバンガロー、オートキャンプ場等の施設があり、近隣の御嶽山は水遊びや釣りなどに最適です。オートキャンプは四月~十月。



別紙マップF-5

【サンセットポイント】

### ● 大平峠の 木曾見茶屋

大平峠の木曾見茶屋 (飯市のサンセットポイント百選) 全山が紅葉する秋の夕日は周囲を彩り、黄金色に染め、緋玄の世界に誘います。



別紙マップF-7



# 健康 基地 富貴畑高原

ふうきばたこうげん



別紙マップF-6



## 心も体も リラックス。

コンコンと湧く天然温泉。やわらかな湯が心にまでしみわたる。心地いい風の中で、心も体も深呼吸。

**⑦ 富貴畑高原温泉郷** (滝見の幸 ホテル富貴の森)  
富貴畑高原にある温泉で、それぞれ入浴、食事、休憩ができる施設と宿泊施設があります。泉質はアルカリ性単純泉。

**⑧ 富貴畑高原の花桃**  
富貴畑高原温泉地敷や床瀬荘(素泊りのみの周辺)標高約一〇〇〇mの高原に、白赤ピンク三色咲き分けの花桃が春の訪れを告げます。五月の連休頃が見頃です。



別紙マップF-6

**⑨ 大平峠民の森**  
飯田市との境、標高二、三〇〇m、二五〇m、二四八mの高原。ヒノキ、サワラ、アサヒなど天然林やカラマツ林の豊かな自然の中に作られた散策路からは、南アルプス、御嶽山、遠くには乗鞍岳を望むことができます。

### 木工芸の里

蘭は、木地物、検査など木工芸の里長い時の中で人から人へ伝えられた木工芸の伝統の技は、見る人に温かさを語り、使う人に深い愛着を与えます。



蘭検査 (あらかき ひのき がさ 景の伝統的工芸品に指定)



### ⑤ 木地師の家

明治後期の独立小屋形式の民家を移築復元したものの一部屋の中に積まれたろくろの半製品や木クズをくろのかんをクズを敷き詰めた上のムシロ床などがかつての木地師の家を偲ばせています。

### ⑥ 検査の家

蘭生産協同組合の展示直売所。上九天、ちよんぼり、飾り笠などの検査のほか、納代編みの技術を活用したサンバイザー、健康靴、中敷などの新製品もあります。

### 木地師の里



明治期より、漆畑に木地師が集まり、村をつくりました。彼らは技術を継ぎ、継承し、そして今の地は木地師の里として、様々な製品が作られています。どこからか木の香りが漂ってきます。



南木曾ろくろ細工 (国の伝統的工芸品に指定)



木曾ならではの風土と  
生活の中で生まれた。  
**味**



**匠**

技と木の温もりを  
今に伝えて



● **検査製品**  
薄く削って短冊状にした検査用紙を、昔ながらの手編みで作られた検査皿は、美しい網目、香りと共に実用的な一品です。



● **ろくろ製品**  
トチ・ケヤキ・イチイなどを材料として作られた、木目の美しい茶ひつ・お盆・木地鉢などがあります。



● **溪流魚**  
木曾の清流を利用して養殖されたイワナやアマゴ・コジマスなどが、甘露煮・燻製・塩焼きなどで味わえます。



● **柿其味噌**  
岩倉村おこし組合で作られている味噌は無添加で、市販のものとは一味違います。



● **桶製品・小木工芸品**  
ヒノキ・サワラで作った寿司桶・漬物桶・手桶などの桶製品、箸・しゃもじなどの家庭用品が豊富に揃います。



● **そば**  
黒めで少し太めの素朴な手打ちそばは、この地域の名物です。



● **和菓子**  
地元の自然素材を使った、栗きんとん・そば饅頭・ほうろく巻き・おやきなど、昔ながらの素朴な味わいです。



● **五平餅 (ごへいもち)**  
わらしと豆子型の2種類があり、クルミ・ゴマなどの薬油ベースのタレをつけて炭火であぶっていただく、香ばしい味香の各物です。



● **えごま油**  
100%南木曾町産のえごまを使用。えごま油は、健康のために不可欠なオメガ3系脂肪酸を豊富に含んでいるため身体に良いと言われていた自然食品です。



● **ねこ**  
中綿を入れて大きく袖を開けた袴種(はんでん)で、着るとひっそり背中にくっつきます。軽くて動きやすく快適、背中を暖めるので寒い季節にはなくてはならない一品です。



● **赤たつ漬**  
トノイモの茎を塩漬にした物でズイキ漬ともいわれています。シャキシャキとした歯ごたえがおいしい10~2月の季節商品です。

**手造り体験**

ろくろ細工 (通年・要予約)



南木曾ろくろ工芸協同組合  
(0264) 58-2041  
古来からの伝統技法の手挽きで作るオリジナル皿。  
●料金/1人3,300円~ ●所要時間/約60分  
※電動ろくろでの皿作り体験もあり

桧笠作り (通年・要予約)



桧笠生産協同組合 (0264) 58-2727  
自然と素朴な風土から生まれたミニ桧笠の手編み作り。  
●料金/1人2,500円 ●所要時間/約2時間

紙すき (12月~3月・要予約)



田立和紙の家 (0573) 75-4910  
伝統的技法による紙すき体験。  
●料金/1人1,500円 ●所要時間/約2時間



**1 天河滝**  
田立の滝の主瀑。高さ100mの花崗岩壁の天辺から大滝川本流が崩れるように落下しています。

**2 霧ヶ滝**  
この大岩壁を水は崩れようとして落ち、飛沫は大乱舞しています。

**3 洗心滝**  
棚状の岩壁から清流が軽やかに流れ落ちていきます。

**4 らせん滝**  
滝口から落ちた水が中ほどの岩にぶつかり、ねじれながら滝壺へ落ちていきます。

**5 うるう滝**  
親瀑小屋から仰げば、すぐに構えた花崗岩壁を水飛沫が落下しています。

**6 田立の滝**  
大滝川の渓谷にかかる無数の瀑布を総称して田立の滝と呼びます。それらは神秘的で実に感動的。粒栗駐車場から主瀑の天河滝まで森林の中の遊歩道を約時間半。

**7 和紙の家**  
田立は古くから和紙の里として知られ、農家の冬の副業として紙すきが行われていました。現在は保存会によって伝統技術が引継がれています。予約もできます。

**8 禅東院**  
先代の住職藤田歌津は歌人岡本かの子の愛弟子。その縁で岡本一平、亀井勝一郎が宿を請いにこり酒で友好を温めました。境内には多くの文学碑が建てられ岡本太郎、瀬戸内寂聴も訪れた文学の寺です。

**壮大な、水の造形。**

滝：滝：滝。岩肌を打付ける水しぶきが、マイナスイオンを作り出す。ハードな自然道も、清々しく感じてしまう。



自然歩道

**田立の滝**

たたらのだす

別紙マップC-2

別紙マップC-2

別紙マップC-2

別紙マップD-2

別紙マップE-2

別紙マップD-2

EVENT  
祭・イベント

歴史を物語る、  
おごそかな祭りやイベント。  
南木曾が一つになる日です。



**なぎそミツバツツジ祭り E-4**  
4月中旬、天白公園に群生する約400株のミツバツツジが鮮やかなピンク色の花を咲かせます。期間中には地元の物産や、ツツジ苗などの販売が行われます。



花馬祭(田立) E-2 県無形民俗文化財

10月第1日曜日。五色の紙で稲穂を形取って作られた花を、鞍に飾った3頭の本首馬が笛太鼓とともに田立駅前広場から五宮神社まで練り歩きます。境内を3周すると待っていた人々が一斉に花を取りかいます。取った花は家の入口にさすと厄除け、田鞋にさすと虫除けになると伝えられています。田立駅前広場を12時30分出発。



白山神社祭礼(与川) C-5

5月5日・10月第3日曜日。午後1時から境内で神事が行われ、江戸時代に加賀白山の人が伝えたという越前子による典雅な悪魔払いの舞が奉納されます。祭りでは、お神酒として地酒の「仙酒」が振る舞われ、この地方恒例の餅投げが行われお開きになります。(町民族文化財)



和智笠神社祭礼(妻籠) F-4

7月23~24日。妻籠宿の鎮守様の祭り。大神輿が「げーにもさよな」「さよな、さよな」の掛け声で威勢よく宿場町を練り歩きます。



与川の秋月観月会 C-5

木曾氏の一族が住んだという古典庵のあった坂本平から統める仲秋の名月は木曾随一。地元の人々によって盛大に月見の宴が行われ、地酒(仙酒)が振る舞われます。



妻籠健康マラソン大会 E-4・F-4

6月第1日曜日。「3キロ、6キロ、10キロ、親子ペア」のコースで新緑の中山道、妻籠宿の自然と歴史にふれながら楽しく走ります。



妻籠宿火まつり F-4

8月第4土曜日。妻籠宿本陣前で火伏の神事、ふれあい館で郷土の伝統芸能が楽しめます。



工藝街道祭り(爾・広瀬) F-5・G-6

11月上旬。伝統工芸品のろくろ職工・絵筆製造や、輪などの木工品の実演、特売が笠の家・水地師の里を主会場に開催されます。



文化文政風俗絵巻之行列(妻籠) E-4・F-4

11月23日。武士や駕籠かき、虚無僧、鳥追い女、木曾馬に乗った花嫁行列などが中山道を往來し江戸時代の風俗を再現します。10時30分に渡鳥を出發し妻籠宿でお昼、さらに大妻籠まで歩きます。

お問い合わせ

一般社団法人 南木曾町観光協会  
(妻籠観光案内所)

〒399-5302 長野県木曾郡南木曾町吾妻2196-1  
TEL 0264-57-2727 FAX 0264-57-4036  
TEL 0264-57-3123 (観光案内専用)

(一社)南木曾町観光協会ホームページアドレス  
<https://nagiso.jp/>

妻籠観光協会ホームページアドレス  
<https://tsumago.jp/>

南木曾町ホームページアドレス  
<http://www.town.nagiso.nagano.jp/>

交通のご案内

車で：塩尻IC / 伊那IC から1時間30分  
中津川IC から30分  
飯田山本IC から50分

